

『伏見区総合庁舎整備』ワークショップ通信

第2号 平成19年 12月 15日 発行

第2回ワークショップ「新総合庁舎を語ろう」を実施しました！

11月25日（日）に、伏見保健所講堂で第2回ワークショップを実施しました。当日は市民・スタッフ合わせて50名が集まり、市民交流スペースやユニバーサルデザインなどの「使い方やあり方」について意見を交わすなど活発な議論を行いました。

ワークショップスケジュール(全4回開催)

第1回 「新総合庁舎案をのぞいてみよう」

平成19年11月11日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

済

第2回 「新総合庁舎を語ろう」

平成19年11月25日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

済

第3回 「新総合庁舎を楽しもう」

平成19年12月15日(土)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

第4回 「設計図面で確認しよう」

平成20年3月23日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

第2回ワークショップのプログラム

14:00 開会

14:03 第1回ワークショップの振り返り

14:10 意見・要望への回答

14:50 ワークショップ

「新総合庁舎を語ろう」

15:40 発表

15:55 講評

16:00 閉会

第2回ワークショップの概要

- ファシリテーターの奈良磐雄先生から、今回のワークショップの説明と、第1回ワークショップの振り返りを行いました。
- 事業者からは、第1回ワークショップで参加者から出された意見や提案について、「外構」「市民交流スペース」「ユニバーサルデザイン」を中心に、検討結果を具体的に説明しました。
- ワークショップでは、「市民交流スペース」「ユニバーサルデザイン」をテーマに、図面を活用し、その使い方やあり方について活発に議論しました。その後各班の代表者が班の意見を発表し、むすびは奈良先生が講評と、この日のまとめを行いました。

参加者の意見・要望への回答—整備提案に対する—

●参加者の意見・要望への回答です(意見・要望を踏まえ検討した結果です……)

Q.外構・外観・施設全体について

- A 伏見のイメージを強調できる樹木は濠川の柳であると考え、4m以上の柳とします。また角地については、桃山にちなんでシンボルツリーとして桃(花桃)を選定します。
- A 庇の色は酒蔵の雰囲気を出すため、屋根と同じグレー色にします。
- A 光庭は、東西約60mの奥行きをもつ建物に光と風を取り入れるために必要となるものです。
- A 階段は建物が見渡せるように透けるデザインとしましたが、覗かれる問題があるので検討しなおします。
- A 災害時には会議室に区の防災本部を設置、来庁者へは館内放送と職員で対応します。
- A 喫茶と食堂の厨房は別運営ができる設備とします。
- A 多目的ホールでは講演会や教室の開催が可能で、席配置により200人収容できます。(音楽発表会は可能ですが、会議室仕様のため、大きな音をだすことはできません。)
- A 青少年活動センターの体育室には冷暖房を設置します。また、活動室には鏡を設置し、音楽利用(ピアノやダンス練習の音楽程度)ができます。

Q.駐車場について

- A 利用者が入場時に入場券を取り、引き換えに発行される出場券により出場するシステムを導入します。
- A 駐車場内に歩行帯のラインを引き、車両通行帯と区分することで安全を確保します。また車椅子用駐車台数は来庁者用駐車場50台のうち3台ですが、雨天時の対応として車椅子用駐車区画は屋根付きとします。

●参加者の意見・要望を踏まえて提案しました(さらなる意見をきくために……)

市民交流スペース(1F)について

<区民ロビー>

- ・オープンエリア、談話コーナー、展示・情報コーナーで構成(会議室機能は4階に配置)します。また大型映像や展示パネルで情報発信機能を計画します。
- ・多目的に利用できるスペースを計画、展示やイベントができるようにします。

<喫茶コーナー>

- ・客席ゾーンは区民ロビーとホワイエ側から使えるようにします。

市民交流スペース(4F)について

<市民交流会議室>

- ・A案(オープン会議スペース+中・小会議室)、B案(大会議室+中・小会議室)、C案(中・小会議室のみ)の3案を提案しました。

●ユニバーサルデザインへの提案(すべての人に利用しやすく……)

屋内施設における配慮

- ・段差のない床レベル
- ・余裕ある幅員を確保した廊下、階段、待合
- ・滑りにくい床材
- ・利用形態に応じた引戸
- ・車椅子・視覚障害者対応エレベーター
- ・誰もが使いやすいトイレ
- ・階段の2段式手摺
- ・使いやすいプラグ・スイッチ類
- ・車椅子利用に配慮した家具・什器

案内システムへの配慮

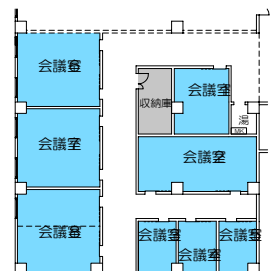
(第1回ワークショップの意見)

- ・各入り口から案内ができる
- ・誘導ブロック
- ・変更に対応できるサインシステム
- ・点字案内、音声案内
- ・補聴システム

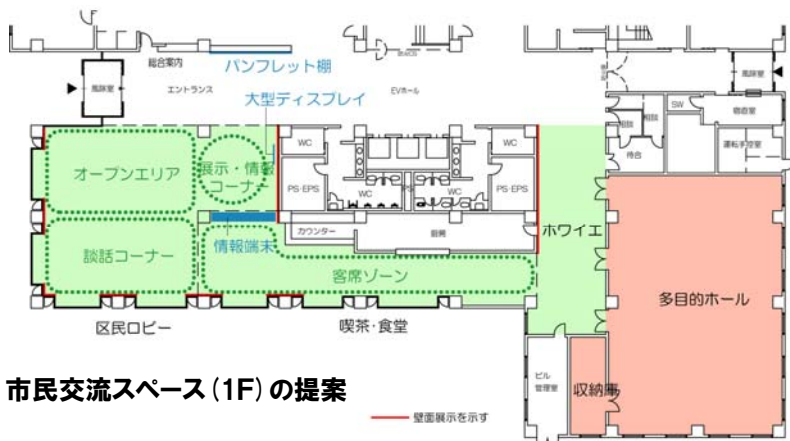
屋外施設における配慮

- ・歩車道境界段差処理
- ・安全な横断勾配
- ・歩行者に配慮した床材
- ・辻標(つじしるべ)の設置
- ・車椅子利用者、障害者に配慮したスロープ
- ・外部夜間照明による安全な誘導

計画に反映

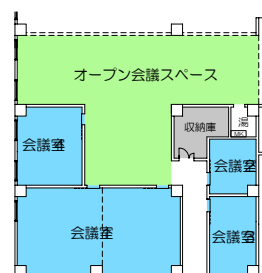


C案

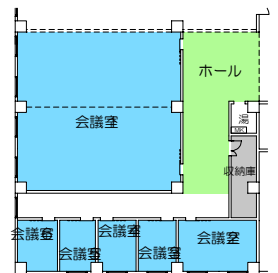


市民交流スペース(1F)の提案

— 壁面鏡示を示す

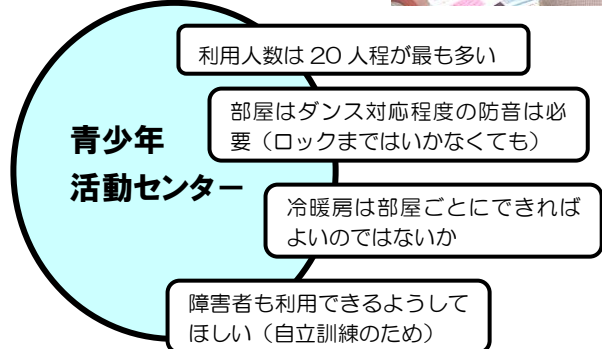
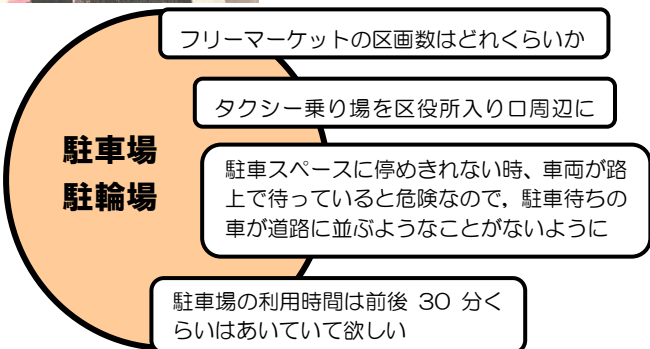
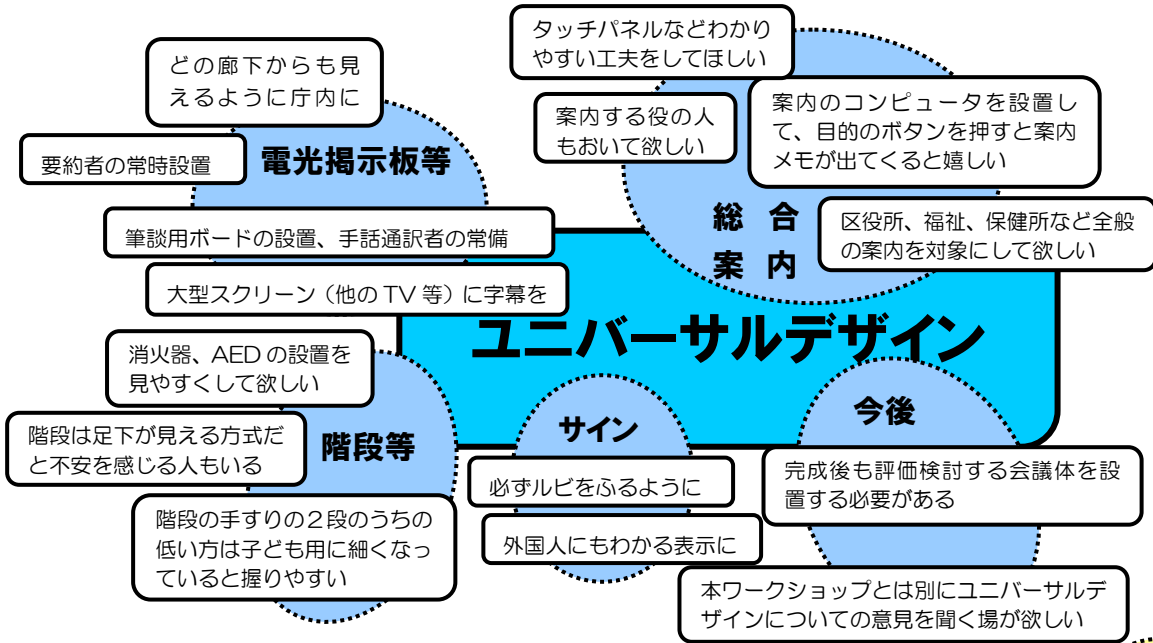


A案



B案

市民交流スペース(4F)の提案



アンケートでは「具体的で分かりやすかった」という評価をいただいています

- 第2回ワークショップの市民参加者は25名、そのうち15名の方がアンケートに回答されました。回答者は男性が11人(73.3%)、女性が4名(26.7%)でした。
- 年齢は40歳代、50歳代がそれぞれ26.7%、30歳代、60歳代以上がそれぞれ21.4%となっています。
- 回答者のうち、4人に3人が「前回も参加した」となっており、ワークショップへの関心度は高いといえます。
- また、前回と比較して「今回のほうが良かった」とする人は8割となっています。
- ワークショップに参加した感想は、3人に2人が「良かった」と評価しています。「良かった」主な理由として……
 - ・第1回の意見・要望を受け止め、どのように計画に反映させたのかを説明したのが良かった。
 - ・テーマや内容がより具体的なものとなったので良かったし、議論しやすかった。
 といったご意見をいただいています。

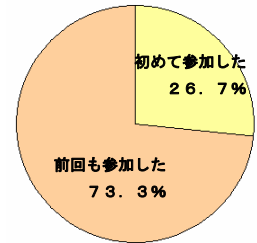


図 参加状況

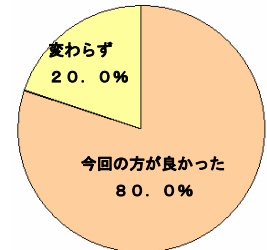


図 前回と比較した感想

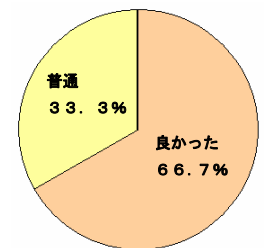


図 ワークショップ感想

一方では、もう少し工夫をというご意見もいただいています

- 図面に寸法がなく大きさがつかめない。テーブルを書き加えるなど、大きさや利用イメージを感覚でつかめる工夫が必要である。
- 意見交換の時間がまだまだ少ない。
- 参加者の中には今回初めての参加という人もいることから、より詳しく説明を行うなど、途中からでも参加しやすいようにお願いします。

第3回ワークショップ

「新総合庁舎を楽しもう」

日時:平成19年12月15日(土)14:00~16:00
 場所:伏見保健所講堂
 ファシリテーター:奈良磐雄京都造形芸術大学教授

実施概要

- 第3回ワークショップは、参加者のこれまでの意見や要望に対し、事業者がそれを取りまとめた具体案を提示します。
- ワークショップは「新総合庁舎を楽しもう」をテーマに参加者の皆さんが、事業者提案への評価とともに、具体的な使い方をともに考えます。

プログラム

- 14:00 開会
- 14:03 第2回ワークショップの振り返り
- 14:10 意見・要望に対する具体案の説明
- 14:40 ワークショップ
「新総合庁舎を楽しもう」
- 15:40 発表
- 15:55 講評
- 16:00 閉会

前回ご参加いただけなかった皆さんも参加いただけます。
 皆さんのご参加をお待ちしております。